

1-1_直線単路での危険_ドライバー編

* 感情コントロール: イライラ *

インストラクター 手引き書

この講習は、通常の交通安全講習とは異なり、受講者の皆さんが主体です。 ディスカッションを行う際は、コーチングの基本を参考に、進めてください。

◎コーチングの基本

- ・どんな意見に対しても否定はしないこと。
- ・ 自由奔放に意見ができる雰囲気をつくること。 (真面目な意見も面白い意見も大歓迎)
- · 人の意見と同じでもいいし、そこから発展させることも大いに結構。

1-1 直線単路での危険 ドライバー編 * 感情コントロール: イライラ *

● はじめに

交通事故による死者は、歩行中が最も多く、そのうちの7割は、道路を横断するときに発生しています。

ドライバー・歩行者、双方の不注意と見逃しが重なることが、主な要因となり、横断歩行者の事故は起きています。

不注意や、見逃しをしてしまうなど、危険を察知する力が欠けてしまう理由のひとつに、

わたしたち人間は、体調や気分、それぞれの性格によって、異なる判断をし、ときに正しい行動ができなくなる ことがあります。

本動画では、直線単路のドライバー視点における、「イライラの感情」をテーマとしています。

●ゴール

運転中のイライラを抑えて安全運転を行えるようにすることです。

- ●プログラム(※受講者へワークシートを配布し、プログラムに沿って進行してください)
- **1:** グループ(4名~6名くらいで1グループ)を作り、発表する役割をもつチームリーダーを各グループで 決めてください。
- **2:** 動画を再生し、最後まで動画を視聴します。 (約4分)
- 3: 感情コントロールについて、自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ 記入し、グループディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。(約10分)
- 4: 影響度合いが低かった人の行動から、感情のコントロール方法について具体的に考えます。 グループ内でディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。(約5分)
- **5:** 各グループから発表された感情のコントロール方法から、自分が行えそうな方法を選択します。 参加者各自がその選択した感情コントロール方法について発表します。(約5分)

所要時間: 約20分~30分

1-1 直線単路での危険 ドライバー編 * 感情コントロール: イライラ *

- ●横断歩行者保護 交诵安全コーチング 進行フロー
- **1:** グループ(4名~6名くらいで1グループ)を作り、発表する役割をもつチームリーダーを各グループで 決めてください。
- 2: 動画を再生し、最後まで動画を視聴します。(約4分)

インストラクター:

「これからお見せするのは、<u>仕事上のことを気にしてちょっとイライラしながら、直線道路を</u> <u>運転しているドライバー</u>の動画です。<u>そのような感情状態のときにおこる危険を考えなが</u> らご覧ください。」

- ★動画START(最後まで視聴します)
- 3: 感情コントロールについて、自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ 記入し、グループディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。(約10分)

インストラクター:

「ご覧いただいた動画では、<u>イライラした感情を持ちながら運転することの危険</u>を紹介しました。」

「あなたは、<u>最近どんなときにイライラ</u>しましたか?<u>とくに強かったイライラを思い出して</u>、 ワークシートに記入してください。」

あなたが最近、「特に強くいらいらした体験」について、具体的に記入してください。

受講者 ワークシート

例) 上司に怒られたとき/夫婦ケンカしたとき/ゴルフのスコアが悪かったとき etc

1-1 直線単路での危険 ドライバー編 * 感情コントロール: イライラ *

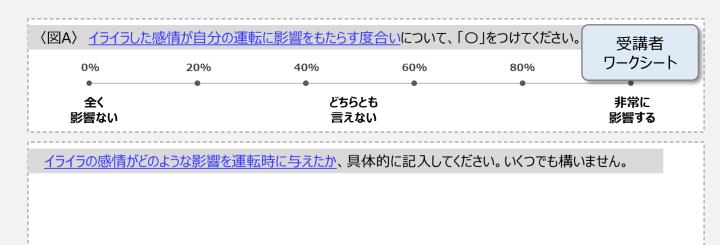
- ●横断歩行者保護 交诵安全コーチング 進行フロー
- **3:** 感情コントロールについて、自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。

インストラクター:

「今思い出していただいたような<u>イライラ状態で運転するとき、あなたの運転にどのような</u> 影響をもたらしますか?」

「<u>イライラした感情が運転に影響をもたらす度合いについて</u>、〈図A〉の該当する箇所に「〇」印を付けてください。そして、運転への影響について具体的に考え、ワークシートに記入してください。」

- ※参加者が戸惑うようであれば、影響について「呼び水」程度に内容を示してください
- 例) 注意力 → どのように変化しましたか? 速度 → どう影響しましたか? 車間距離 → どう影響しましたか?



インストラクター:

「記入を終えたら、グループごとでディスカッションしてみてください。」 「グループリーダーは、グループ内の<u>イライラした感情が運転にもたらした影響度</u>について、 また、<mark>どのような影響があったかなど、発表</mark>をお願いします。」

※どのようなときに特にイライラしたかについては、プライバシーのため、発表していただく必要はありません

1-1 直線単路での危険 ドライバー編 * 感情コントロール: イライラ *

- ●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー
- **4:** 影響度合いが低かった人の行動から、感情のコントロール方法について具体的に考えます。 グループ内でディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。(約5分)

インストラクター:

「影響の程度を<u>「50点以下」と評価された方は、何か対処方法をお持ち</u>なのかもしれません。グループ内で、運転への影響が少ない方の理由を聞いてみてください。」

「グループリーダーは、グループ内で<u>イライラした感情の対処方法について</u>みんなで話し合い、どのような感情のコントロール方法があるのか、発表をお願いします。」

※発表された感情コントロールの方法について、受講者が視認できるようホワイトボードなどに書き出してください。

(例)

- ・深呼吸して、気持ちを鎮める。
- ・速度をいつもより落とすことを心がける。
- ・車間距離をいつもより空けるようにする。
- ・イライラしてるときは運転を控える。

- 運転前に、ワーっと声を出して、すっきりしてから運転をする。
- 温かい飲み物を飲んで、気持ちを落ち着けてから運転をする。
- ・相手の悪口を心の中で言う。など

どのような感情コントロールの対処方法があるか、記入してください。いくつでも構いません。

受講者 ワークシート

1-1 直線単路での危険 ドライバー編 * 感情コントロール: イライラ *

- ●横断歩行者保護 交诵安全コーチング 進行フロー
- **5:** 各グループから発表された感情のコントロール方法から、自分が行えそうな方法を選択します。 参加者各自がその選択した感情コントロール方法について発表します。(約5分)

インストラクター:

「色々な解決法が出てきましたね。この中から、<u>自分が実際に行うことができそうな感情</u> コントロールの方法を記入してください。いくつでも構いません。」

「最後に、各自で発表していただいて、このプログラムは終了します。」

自分が行えそうな感情コントロールの方法を記入してください。いくつでも構いません。

受講者 ワークシート

横断歩行者保護 交通安全コーチング

1-1_直線単路での危険_ドライバー編 * 感情コントロール:イライラ * ______ 終了となります。_

- ▶ 歩行者の死亡事故の約7割が横断中で、道路形状別にみると、 以下の場所で死亡事故が多発。
 - ●単路・直線/その他横断中27%
 - ②信号交差点/横断歩道横断中21%
 - ❸無信号交差点/その他横断中18%

横断中歩行者死者数 相手四輪 2018~2020 n=2,132

